

大阪府議会定例会 (2021年2月25日 ~ 3月24日)

健康福祉常任委員会報告

新型コロナワクチン接種、安全・安心の体制整備を!

- ・府民への迅速かつ的確な情報提供に努めよ
- ・市町村と連携した相談体制を整備
- ・もしもの副反応等に、接種会場の現場での対応、さらに地域での専門医療機関等の確保で安心の体制を整備



ワクチン接種会場における、障がい特性に応じた配慮の実施で、心のバリアフリーを体現!

高齢者向け優先接種を皮切りに本格的なワクチン接種が始まり、障がいをお持ちの方も来られる。接種会場はハード面・ソフト面でのバリアフリーが当たり前になっている場にしてもらいたい。障がい特性に応じた合理的な配慮がなされ、心のバリアフリーが体現できる場にすべきだ。実施主体である市町村に、府としてどう支援していくのかと、強く訴えた。

府は、高齢者や障がい者に配慮した内容を盛り込んだ、市町村向けマニュアルを作成するなど、しっかり支援していくと答えた。



八尾市のワクチン接種に関すること

八尾市新型コロナワクチン接種コールセンター

- ・電話番号:0570-008-633(ナビダイヤル)
- ・FAX番号:072-923-1985
- ・受付時間:午前9時~午後5時(平日のみ)

ワクチンの副反応等に関すること

大阪府新型コロナワクチン接種コールセンター

- ・電話番号:0570-012-336(ナビダイヤル)
- ・受付時間:24時間(土・日・祝含む)

発達障がい児者支援プランの充実・強化!

これまで府においては、発達障がい児者支援プランを独自に策定し、切れ目のない支援を目指してきた。現在、よく耳にするのは、診断に時間がかかる。場面ごとにサービスを利用するのに、毎回状況の説明が必要。といったことがある。サポートファイルの徹底を願いたい。今回、第5次障がい者計画の一部に取り入れられることになるが、どう充実・強化を図るのかと質した。

府は、新しい視点として、診断の有無にかかわらず、発達障がいの特性がうかがわれる方への支援の方向性を示した。

「思いやりをカタチに」

障がい者に関するマークの普及・啓発を進めよ!

「ハートプラスマーク」「耳マーク」「ほじょ犬マーク」「オストメイトマーク」「ヘルプマーク」など、障がいのある方が安心して外出できるよう、周囲の人へ理解と協力を知らせるマークの普及・啓発をさらに進めるべきと求めた。

府は、4月から実施する「障がい者差別解消ガイドライン」改訂の周知徹底に合わせての啓発や、小学3年生全員への普及グッズの配布など、工夫を凝らして進めていくと答えた。



ハートプラスマーク 耳マーク ほじょ犬マーク オストメイト ヘルプマーク

身体障がい者補助犬使用にかかる理解促進を進めよ!

補助犬は身体障がい者の方々の生活をサポートする犬で、使用されている方にとっては、なくてはならない存在。社会全体にさらに理解が進むよう、府として理解促進を図ること、と訴えた。

府は、補助犬同伴拒否の事例には、個々に法律の規程を丁寧に説明し理解を求めていくほか、リーフレット、ステッカーの配布、補助犬とのふれあうイベントの開催などを行い、さらなる理解促進に努めると答えた。

